

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年6月25日(木) 3校時
 児 童 第2学年 男12名 女13名 計25名
 指導者 教 諭 及川 竜太

付けたい読解力	A 順序をおさえ、内容の大体を読み取る力	〈説明的な文章の解釈〉
	B 挿絵と文章とを対比させて読む力	〈説明的な文章の解釈〉
	C 読み取った内容を自分なりにまとめ発表する力	〈自分の考えの形成及び交流〉

1 単元名 じゅんじょに気をつけてよもう (光村2年上)
 教材名 たんぼぼのちえ

2 単元について

(1) 単元の位置づけ

【低学年の説明文】「じどう車くらべ」「どうぶつの赤ちゃん」順序を追って、正確に読む。

- ・ 問いと答えの文章構成である。
- ・ 文章全体への問いかけはあるが、文章全体のまとめはない。

「たんぼぼのちえ」

- ・ 全体を時間の流れでの順序で説明している。文章全体への問いかけはないが、文章全体のまとめはある。

「サンゴの海の生きものたち」

- ・ 「なか1」と「なか2」の説明は時間の順序ではなく、並列の関係。
- ・ 文章全体への問いかけ、文章全体のまとめ、ともにある。

↓
 【中学年の説明文】

目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む。

↓
 【高学年の説明文】

要旨をとらえ、自分の考えをもつ。

(2) 教材について

第1学年及び第2学年の説明的文章の読解力として、最も身に付けさせたいことは、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」である。そのためには、時間的な順序や、例えば、事物の作り方の手順など文章に取り上げられた話題自体に内在する順序、どのような文章構成をしているかという「文章表現上の順序」について考えることが大切である。そして、そのような順序に沿って「内容の大体(あらまし)を読む」ことで理解することが重要である。

本教材は、児童にとって身近な花が題材となっていると同時に、少し観点を考えてみると、未知(なぞ)の要素があり、それを解明、発見できる喜びを実感させることのできる説明文である。例えば、「花が終わった後に、枯れないで、白い綿のようなものを付けるのはなぜか」などというなぞがあるが、それらに対して一つ一つ丁寧に答えている。まず「2、3日たつと」「やがて」など時間を表す言葉を使って、時間の順序どおりにたんぼぼの様子を示す。それに続くそれぞれの段落で「～のです。」「～からです。」という表現で、その様子の理由づけをしている。また、最後の段落で「このように一」という形で、文章全体をまとめている。他にも、「はじめ」「中」「終わり」という典型的な説明文の文章構成をもっており、様々な要素を手がかりとして、児童が自ら進んで説明文を読むのにふさわしい教材であると考えられる。

(3) 児童について

児童は、1年生の説明文「いろいろなくちばし」で「問い→答え」の文型を学び、説明されている事柄を読み取る学習をしている。また、「じどう車くらべ」「どうぶつのあかちゃん」では、文章全体への問いかけを起点に読む学習や時間の流れに沿って読む学習をしてきている。

NRTの結果を見ると「読むこと」の領域は全国平均を上回っているが、場面を想像しながら読む力については落ち込みが見られる。また内容を考えながら音読することが苦手とする児童が多い。

2年生では、物語文「ふきのとう」「スイミー」の単元で、登場人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読んだり、声に出して読んだりして、お話しを楽しむ学習をしてきた。書く活動については、登場人物の特徴や気持ちが表れている箇所にサイドラインを引いたり、吹き出しに気持ちを書かせる活動を行ってきた。しかし、大体の内容を読みとる力や書く速さ、言語事項についての理解の差などから、個人差が大きい。

(4) 指導について

本教材文を学習することで、児童に順序をおさえ内容の大体を読み取る力をつけさせたい。そのために、たんぼぼの花が咲いてから種を飛ばすまでの時間の順序に沿いながら、四つの「ちえ」に対応した挿絵と文章を対比させながら大体をとらえさせる。また、仲間を増やすための四つのちえ

の変化を、それぞれ「とき」「ようす」「わけ」という観点で読み取っていきたい。最後には、たんぼぼ以外で自分の興味のある草花カードを書くことで、活用する力をつけさせたい。

本研究に関しては、単元全体や本時で身につけたい力を明らかにしながら授業を展開していく。また、初発の感想や教科書へのサイドライン、視写やワークシートへの書き抜き、カードを書く活動を通して、確かに読み取る力をつけていきたい。

3 単元の目標

- (1) たんぼぼがどんな知恵を働かせているのかを読み取り、たんぼぼ（種の保存の仕組みの不思議）に興味をもち、進んで読もうとする。（関心・意欲・態度）
- (2) 時間の順序や理由づけを示す言葉に着目し、様子とわけなどを考えながら読む。（読むこと イ）
- (3) 語や文のまとまり、内容のまとまりを考えながら声に出して読む。（読むこと エ）
- (4) 文の中における主語と述語との関係に注意する。（言語事項 エ）

4 単元の指導計画（15時間）

- | | | |
|-----------|----|---|
| 〈一次 つかむ〉 | 1 | ・題名やたんぼぼに興味・関心をもつ。
・全文を音読し、初発の感想を書く。 |
| 〈二次 見通す〉 | 3 | ・挿絵を参考にたんぼぼの変化に注目し、大体の内容をつかむ。
・新出漢字の読み書きと難語句を確かめる。 |
| | 4 | ・教材文を読んで初めて知ったことや疑問点等を交流する。
・読みのめあてを知る。学習計画を立てる。 |
| 〈三次 深める〉 | 5 | ・形式段落①を読み、咲いているたんぼぼの花の様子を読み取る。 |
| | 6 | ・形式段落②③を読み、花と軸を休ませている様子とそのわけを読み取る。 |
| | 7 | ・形式段落④⑤を読み、綿毛ができる様子とそのわけを読み取る。 |
| | 8 | ・形式段落⑥⑦を読み、倒れていた花の軸が起き上がり伸びていく様子とそのわけを読み取る。（本時） |
| | 9 | ・形式段落⑧⑨を読み、天気によって綿毛が開いたり、すぼんだりする様子とそのわけを読み取る。 |
| 〈四次 まとめる〉 | 10 | ・形式段落⑩を読み、たんぼぼがちえを働かせるわけを読み取る。 |
| | 11 | ・たんぼぼの仲間を増やす「ちえ」と「わけ」を順序よくまとめる。 |
| | 12 | ・たんぼぼの知恵に驚いたことなど、教材文を読んだ感想をまとめる。 |
| 〈五次 ひろげる〉 | 13 | ・自分の選んだ草花について調べる。 |
| | 14 | ・自分で選んだ草花について調べたことを紹介する「草花カード」を書く。 |
| | 15 | ・お互いのカードを紹介し、よさを認め合う。 |

5 本時の目標

- (1) 目 標 挿絵を手がかりにして、たんぼぼの花のじくが伸びていく様子とわけを読み取る。

本時でつけたい読解力 A 「とき」「ようす」「わけ」の観点で読み、種を遠くまで飛ばすために、たんぼぼの花のじくが伸びていくことを読み取る力

(2) 展 開

	学習活動（○主発問・学習内容）	指導上の留意点・（評価方法）
つかむ 4分	1 学習課題を確認し、見通しをもつ。 たんぼぼはどんなときに、どんなようすをしていますか。そのわけはなんでしょう。	・前時を想起させながら課題を表示する。 (観察)
見通す 4分	2 学習場面（形式段落⑥⑦）を音読する。（一斉読） 3 問題解決の見通しをもつ。 ○ちえを見つけるために、どんなことに気をつけて読めばよいでしょう。	・読みの視点をもつ。（元気よくはっきり読む。） (観察) ・「とき」「ようす」「わけ」の視点を確認する。
4	4 一人学びをする。 ○「とき」や「ようす」が書いてある文にサイドラインを引きましょう。	・各自視点に沿って読み進める。 一人学びの方法 ①段落を一人ですらすら読む。 ②サイドラインを引く（えんぴつ） 「とき」直線、「ようす」波線
5	5 たんぼぼのちえについて読み取る。（学び合い）	

ふかめる 30分	<p>(1) 「このころ」とは、いつか読み取る。 ○このころとは、いつのころですか。 (学び合い)</p> <p>(2) たんぽぽの軸の様子を読み取る。 ○花の軸はどんな様子ですか。</p> <p>○「せのびをする」「ぐんぐん」とはどんな様子ですか。 ・挿絵と本文とを対応させて読み取る。</p> <p>(3) たんぽぽの軸が起き上がるわけを読み取る。 ○なぜ軸は起き上がるのですか。</p> <p>・挿絵と本文を比べ、確かめる。</p>	<p>・「とき」を表す言葉を探し、「かれて、わた毛ができる」ころであることを押さえる。</p> <p>・「起き上がる」「せのびをするように、ぐんぐんのびていく」ことについて押さえる。</p> <p>・「また」に着目させ、ぐったり倒れていた状態から再び起き上がることに気付かせる。</p> <p>・「せのびをするように」「ぐんぐんのびていく」様子について、ペア学習など動作化を通して想像させる。</p> <p>・「なぜ、～でしょう。」の文に着目させ、わけを問うときに使うことに気づかせる。</p> <p>・「～からです。」の文末表現に着目させ、わけを述べるときに使うことに気づかせる。</p> <p>・ペア学習では、理由をつけながら話し合わせる。</p> <p>・わけについて書かれている文を書き抜く。 (ノート・観察)</p>
まとめる 7分	<p>8 読み取った内容をまとめる。 ○たんぽぽの3つ目のちえについてまとめよう。 たんぽぽの3つ目のちえは、たねをとおくまでとばすことです。 ・まとめの音読をする。</p> <p>9 次時の学習内容を知る。</p>	<p>・「ときー様子ーわけ」の形で説明をしている書き方に気づかせる。 (ノート・観察)</p> <p>・まとめの出だしは提示する。</p>

(3) 具体的評価規準

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する児童への支援
<p>「とき」「ようす」「わけ」を読み取り、ようすやわけをいれて三つ目の知恵をまとめている。</p>	<p>「とき」「ようす」「わけ」を読み取り、わけをいれて、三つ目の知恵をまとめている。</p>	<p>「とき」「ようす」「わけ」を見つけるために、文末表現や大事な言葉に着目させる。</p>

㊦

くまたんぽぽの三つ目のちえは、たねをとおくまでとばすことです。

わけ

それは、せいを高くするほうが、わた毛がよくあつて、たねが、をた風に高くあつて、たねが、からとよくあつて、たねが、

ようす

花のじくがおき上がる。

・せのびをするように
・ぐんぐんのびていく

とき

このころになると わた毛ができるころ

㊧

たんぽぽは、どんなとき、どんなようすをしていますか。また、そのわけをよみとろう。

たんぽぽのちえ

挿絵

一 「たんぽぽのちえ」教材分析表

意味 段落	形式 段落	キーワード	要点	言語事項 (難語句)	構成
1	①	花	花がさく。	春になると	【初め】 話題提示
2	②	しぼむ	花はしぼんで、花のじくは、たおれる。	二、三日たつとその そうして (しぼむ) (じく)	【中1】 花と軸を休ませて種を太らせる知恵 (ちえ①)
3	③	たね	花とじくを休ませて、たねにえいようをおくっている。	けれども (えいよう)	【中2】 落下傘のような綿毛を作つて種を飛ばす知恵 (ちえ②)
4	④	わた毛	花はかれて、白いわた毛ができる。	やがて	【中3】 背を高くして種を遠くへ飛ばす知恵 (ちえ③)
5	⑤	とばす	わた毛についているたねをとばす。	ふわふわ (らっかさん)	
6	⑥	花のじく	花のじくがまたおき上がり、ぐんぐんのびていく。	このころになると そうして	
7	⑦	せいを高く	せいを高くするほうが、たねをとくまでとばすことができる。	なぜくでしょう。 だからです。	
8	⑧	ひらいて	わた毛のらっかさんは、いっぱいひらく。	よく晴れて、風のある日には、	【中4】 天候によって綿毛を開いたりすぼめたりする知恵 (ちえ④)
9	⑨	すぼんで	わた毛のらっかさんは、すぼむ。	でも しめりけの多い日や雨ふりの日 (すぼむ) (しめりけ)	
10	⑩	いろいろなちえ	たんぽぽはいろいろなちえをはたらかせる。		【終わり】 まとめ

二 日常の学校生活における言語活動

- ①本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。
- ②「はじめ、中、終わり」の文章構成を意識して文章を書くこと。
- ③朝のスピーチ等で知らせたいことなどについて友達に紹介したり、それを聞いたりすること。